

第6回 関東ホルモンと癌研究会

メインテーマ
内分泌感受性進行癌のホルモン環境とその治療戦略

日時：平成18年12月2日（土）15:00～18:30
会場：埼玉医科大学 川越ビル（川越クリニック）6階大会議室
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町21-7 TEL：049-238-8111
<http://www.saitama-med.ac.jp/kc/index5.html>

参加費：1,000円

当番幹事：佐伯 俊昭（埼玉医科大学 乳腺腫瘍科）

プログラム

15:00～16:00

特別講演

座長：井上 聡 先生 東京大学大学院医学系研究科 コカ・コーラ抗加齢医学講座

『乳癌とエストロゲン産生酵素の発現』

演者：内海 俊明 先生 藤田保健衛生大学 乳腺外科

16:00～16:30

一般演題（ポスター）

16:30～18:00

シンポジウム

テーマ1 ■ビスホスホネートにより悪性腫瘍骨転移と骨粗しょう症の治療が可能か？

司会：河野 範男 先生 東京医科大学 乳腺科

1) Bisphosphonateによる骨転移及び骨粗しょう症の治療

濱岡 剛 先生 聖路加国際病院 乳腺外科

2) 前立腺癌骨転移に対するビスホスホネートの役割

小島 聡子 先生 帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科

テーマ2 ■乳癌とホルモン補充療法

司会：小林 直 先生 東京慈恵会医科大学附属病院 臨床腫瘍部 腫瘍内科

1) 閉経後乳癌のエストロゲンシグナル

山口 ゆり 先生 埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所

2) ホルモン補充療法と乳癌の発症リスク

～厚生労働省研究班（佐伯班）のケースコントロールスタディーの結果より～

佐伯 俊昭 先生 埼玉医科大学 乳腺腫瘍科

18:00～18:30

パネルディスカッション

司会：佐伯 俊昭 先生

パネラー：内海 俊明 先生・濱岡 剛 先生・小島 聡子 先生・山口 ゆり 先生
中川 俊介 先生（東京大学医学部附属病院 女性外科）

18:30～

情報交換会

会場：ラ・ボア・ラクテ

共催：関東ホルモンと癌研究会
ノバルティス ファーマ株式会社

■ 問い合わせ先

第6回関東ホルモンと癌研究会 事務局 担当：山崎

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38 埼玉医科大学 乳腺腫瘍科

TEL & FAX：049-276-1558 E-mail：nyusen@saitama-med.ac.jp

関東ホルモンと癌研究会ホームページ <http://www.jfcr.or.jp/KANTO-HORMONE/>